

平成25年度 社会を明るくする運動

7月は「社会を明るくする運動」強調月間でした。この行事の一環として、児童・生徒の皆さんへ作文を募集したところ、多くの作品が寄せられました。

厳正な審査を行い、優秀・最優秀作品が決定しましたので紹介します。（最優秀賞のみ全文掲載）

（敬称略）

最優秀賞 小学校の部

「人と人がふれあう町『美祢』」
綾木小学校6年 原田 琉希斗

ニュースや新聞を見ると、毎日のように全国各地で事件や事故が起きています。なぜこのようなことが起きるのか、どうしたらなくなるのか、ぼくが住んでいる町を考えてみました。

美祢市は、小さな町ですが、自然豊かで住みやすい町だと思っています。家の近くで事件や事故が起きたことはほとんどありません。それは、ぼくたちの町のすばらしいところだと思います。その理由として、一つ目は、人と人とのふれあうことが多いことです。いろいろな人とふれあえば、たくさん友だちができます。多くの友だちと遊べるし、一緒にいろいろなことを考えたり、相談したりすることもできます。自分が困っていれば、助けてくれる人が友だちの数だけいます。

二つ目の理由は、いじめがないことです。いじめはなかったら、みんなで楽しく暮らすことができます。だけど、いじめが起きると、みんないやな気持ちになり、楽しく過ごすことができません。また、いじめから大問題や犯罪につながるかもしれません。みんなが相手の気持ちになって考え、楽しく毎日を過ごすことができるように、いじめにならないように気をつけないといけません。

三つ目は、地域の人がとても優しいことです。

ぼくの学校では、毎月、一斉下校があります。そのとき、地域の人たちは、「見守り隊」として、ぼ

くたちと一緒に家まで歩いて安全に連れて帰ってくれます。また、帰る途中の危険な場所も教えてくれます。だから、ぼくたちは、お世話になっている地域の人たちに登下校のとき、大きな声で心をこめてあいさつをします。また、お礼の手紙を渡したり、年賀状を書いたりします。友だちだけのふれあいだけでなく、大人の人とのふれあいもとても大切だと思います。

ぼくたちは、地域のためにできることはないか考え、年に二回クリーン活動を行っています。学校から各方面に別れ、ゴミを拾い、分別して袋に入れていきます。一時間もすると、袋いっぱいのごみがたまります。「こんなにゴミが多いのか。」と自分たちの周りをきれいにしながらいつも思っています。

夏休みにも、各地区でゴミ拾いをします。おかげで、どんどんゴミが減り、きれいな町になっています。ぼくは、地域の人たちも積極的に行事に取り組んでいるのを見て、「すごいなあ。」と思い、自分も負けずに進んで取り組みたいと思います。そして、地域の人に「いつもありがとう。」とお礼を言いたいです。

今、ぼくは、六年生です。学校行事だけでなく、委員会活動や集会活動などにも積極的に取り組んでいき、下級生のよい見本となれるようにがんばりたいと思います。そして、これからも地域の人に感謝しながら、『みんながここに住んでよかった。』と言える明るく、住みやすい町になるよう努力していきます。

最優秀賞 中学校の部

「信じる心」
美東中学校3年 杉村 真咲

安心で安全な社会はすべての人の願いです。しかし、新聞やニュースを見るかぎり犯罪はたえません。なぜ人々は犯罪に手を染めてしまうのでしょうか。

私は小さな頃から両親、祖母、祖父に大切に育てられてきました。私が悪いことをしたときはきびしく叱り、よいことをしたときはとてもほめてくれました。こうして善悪の判断が出来るように、しつけてもらったのだと思います。時には厳しく、時にはやさしく私を育ててくれた両親に感謝しています。

私は卓球部に所属しています。厳しい練習でもがんばってこれたのは、一緒に練習に励む仲間がいたからです。部活動に入ってから仲間の存在のありがたさを知りました。つらい練習を共に乗り越えてきた仲間とは何でも話せるようになりました。卓球には団体戦と個人戦があります。団体戦はレギュラーも応援する人も監督も心一つにしてチーム全員で戦います。「自分の点はチームの点」の合い言葉で試合に勝てばチーム全員で喜びを分かち合い、試合に負ければチーム全員で涙を流してきました。卓球部の一人一人が必要な存在で、私はこの卓球部のみんなが本当に大好きです。

この夏、私たちの学校の有志が集まった合唱隊が県のコンクールに出場しました。私の通う学校は、行事が大変盛り上がりします。

「やってみよう」と三年生は大勢

最優秀作品の紹介

参加で、一学期から有志による合唱の練習をしてきました。挑戦しようという仲間がいることはとても幸せなことだと思いました。先生もとても熱心に指導してくださいました。一つの目標に向かって、一緒にがんばることはとても心地のよいものでした。

住んでいる地域は緑あふれる自然豊かな所です。日頃はなかなか地域の方とお会いする機会はありませんが、夏休みにある地区のお祭りは幼い頃から私の楽しみでした。年に一度のお祭りに参加するだけで、そこには家族のようなあたたかさがあります。このふるさが大好きです。

私は多くの人に支えられて生きています。私はその人たちのことを信じ、私も信じてもらっていると思います。信じてくれる人がい

る限り、簡単に犯罪は起こせません。大好きな人たちを悲しませるようなことは出来ないと思います。

今、目の前のことを一生懸命にすること、あたり前のことをあたり前に出来ることが大切だと言われてきた私は、残り少ない中学校生活の中で悔いが残らないように、学習や部活などを一生懸命に行いたいと思います。自分の置かれたポジションを精一杯こなし、仲間や先生方と過ごす時間を大切にしたいと思います。

人は信じて、信じられて強くやさしく、安心の中で生きていけるのだと思います。普段はなかなか気づかないけど、いつも元気に過ごさせているのは信じてくれる人、必要とされる場所があるからです。そして私には、私のことを信じてくれる人、必要とされる場所があ

ります。家族、部活動の仲間、クラスメイト、先生方などがたくさんいます。考えれば考えるほどたくさんいて、私はいろんな人とつながっていることを実感します。みんな私のよき理解者であり、多分何かに困ったとき、私はいろんな人に相談すると思います。きっと、自然と勇気がわき、私は一人ではないと心から思えると思います。そう思えることが、何よりも一番幸せなことです。誰もが、こんな思いを持つことが出来たならお互いを支え合う幸せな社会が築けるのではないのでしょうか。たくさんの人に支えられ、幸せに過ごせている私が、今度は誰かの「信じてくれる人」、「必要とされる場所」になろうと思います。

優秀賞

小学校の部

秋吉小学校 4年

石田 心海

「言葉の橋」

嘉万小学校 6年

杉山 健太

「ふるさとを愛する心」

中学校の部

美東中学校 1年

二宮 大輝

「一つの命」

大嶺中学校 3年

竹内 梨夏

「『挨拶』がつなぐもの」

問合せ先 地域福祉課 ☎0837(52)5228

「女性の人権ホットライン」

「女性に対する暴力をなくす運動」強化週間のお知らせ

ひとりで悩んでいませんか。配偶者・パートナーからの暴力や職場におけるセクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等、女性をめぐる人権問題で悩んでいる人からの電話相談を受け付けています。

相談は無料で、秘密は厳守されます。

あなたの気持ち、どんな小さなことでも結構ですからお聞かせください。

女性の人権ホットライン強化週間 11月18日(月)～11月24日(日)
☎0570(070)810 平日 8時30分～19時 土日 10時～17時 ※強化週間以外は平日8時30分～17時15分
問合せ先 山口県地方法務局人権擁護課 山口県人権擁護委員連合会 ☎083(922)2295

女性に対する暴力をなくす運動週間 11月12日(火)～11月25日(月)
☎0570(0)55210 (DV相談ナビ) 24時間音声案内
問合せ先 美祢市男女共同参画推進室 ☎0837(52)5228



パープルリボンは、「女性に対する暴力根絶運動」のシンボルマークです。